熱く　羽ばたけ　大潟っ子

白　鳥



校 長 通 信
大潟村立大潟中学校
令和8年10月28日（水）発行
NO.7　　文責：半田　昌幸

大潟中学校は「地域と共にある学校づくり」を進めています。国際理解教育を推進するにあたり、大潟村子ども海外交流実行委員会主催の「台湾雲林県立虎尾國民中學との交流」との関連を図っています。また、生徒の社会的自立に向けて校外からの講師を招いた講話会を実施し、生徒のキャリアプランニング能力をはじめとした基礎的・汎用的能力の育成につなげています。授業力向上を目的とした授業研究会も行いました。今回はそれらの様子をお伝えします。

■　虎尾國民中とのオンライン交流　■



１０月２０日（火）にグーグルミートを活用し台湾雲林県立虎尾國民中學の生徒と大潟中学校の生徒とのオンライン交流会を行いました。本校からは１４名の生徒が参加しました。

大潟中の参加生徒１４名は、事前勉強会で中国語での簡単な自己紹介の仕方を学びました。オンライン交流会では、参加者全員が中国語で「自分の名前」「自分が好きなこと」を話すことができました。

自己紹介後には交流を深める目的で、互いに英語で質問し、英語で回答し合う「質問タイム」を行いました。「好きな漫画は？」「おすすめの食べ物は？」などの質問に互いに答え合う中で、大潟中、虎尾國民中の互いの生徒たちの表情が笑顔に包まれていきました。訪台は令和９年１月です。









■　キャリア教育講話会　■





民謡日本一の藤原美幸さんと嵯峨泉稀さんのお二人を講師にお招きし、１０月２６日（月）にキャリア教育講話会を行いました。藤原さんには「夢を歌にのせて～私の半生と挑戦し続けること～」と題して講話していただきました。「言葉を大切にすること」「つらいことを乗り越えた先に素晴らしいことが待っていること」「笑顔には笑顔が返ってくること」など、私たちにとって大切なことを、自分の人生を振り返りながら伝えていただきましたまた。また、お二人には素晴らしい民謡と三味線を披露していただきました。「本物」に触れる貴重な機会となりました。











■　ICTを活用した「主体的・対話的で深い学び」につながる授業づくり　■

本校では、日々の学習の中で生徒一人一人の学びが深まるためにはＩＣＴをどのように活用することが効果的であるか、について研修を積み重ねています。１０月１９日（月）には校内にて授業研究会を行いました。効果的で有用なＩＣＴ活用についての研究を中心に、よりよい授業づくりに向けて今後も研修を積み重ねていきます。以下にＩＣＴ活用の取組の一例を紹介します。



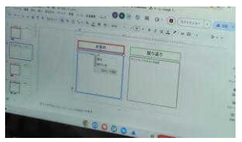
英語科の時間に学習した内容をゲーム形式で復習



道徳の時間にタブレットからアンケートに答える



学級討議の時間にタブレットで提案資料を確認



総合的な学習の時間にタブレットで学習のまとめと振り返りを記録



登校後、朝の健康観察をオンラインで行う



英語科の時間に英作文を友達同士で確認





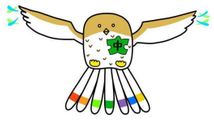
タブレットで撮影した英語での自己紹介動画を全体で共有





社会科の時間に大潟村未来創造会議での提案資料についてグループ内で共同編集





美術科の時間に、作品の構想のアイディアをタブレットを活用して検索

大潟中学校ホームページも是非ご覧ください。
「年間行事」「学校だより　サルビア」
「校長通信　白鳥」　「フォト黒松」